

令和 2 年 3 月

保護者様（家庭数）

京都市立日野小学校
校長 前川 文孝

学校評価アンケートの結果について

1 月 20 日～24 日に行いました第2回保護者アンケートでは、たくさんの方にご回答していただくとともに、貴重なご意見をいただきありがとうございました。子どもたち及び教職員も同様にアンケートを実施しましたので、本校の課題となる点や向上した点についてご報告いたします。

1 保護者アンケート 分析結果

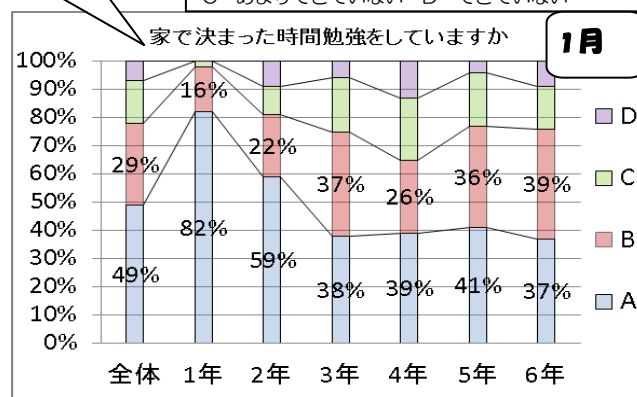
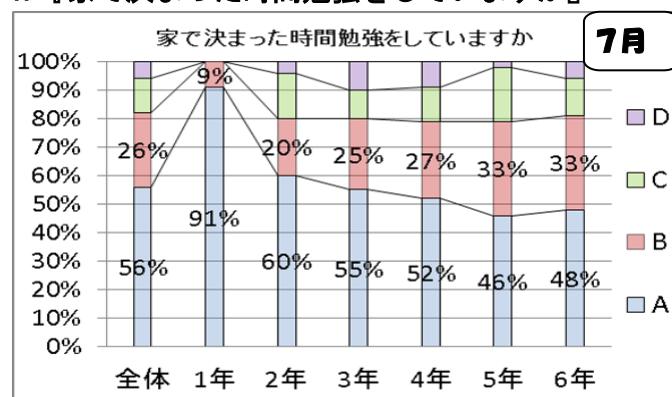
重要度・実現度 最高 7.0

ニーズ度が 25 以上または 25 に近い項目が課題となる点です

質 問 文	重要度	実現度	保護者 ニーズ度	教職員評価 実現度
学校が楽しいこと	6.8	5.7	15.6	5.1
正しい姿勢で学習すること	6.6	4.5	23.1	4.2
授業中いっしょけんめい勉強をすること	6.7	5.2	18.8	4.2
授業の内容を理解すること	6.8	4.9	21.1	4.5
毎日、(15 分×学年)以上家庭学習をすること 例) 2 年生 15 分×2=30 分 3 年生 15 分×3=45 分	6	4.3	22.2	3.5
読書をすること	6.3	3.7	27.1	4.3
先生の話や友だちの意見をしっかり聞くこと	6.8	5	20.4	4.5
相手の気持ちを考えて行動すること	6.7	5	20.1	4.3
挨拶をすること（家・地域・学校）	6.7	4.8	21.4	3.7
正しい言葉づかいができること [先生や地域の方と話すとき]	6.6	4.8	21.1	4.2
他の学年の児童といっしょに活動すること（たてわり活動）	6	5.3	16.2	4.9
進んで体を動かしたり、運動したりすること	6.4	5.1	18.6	5.1
早寝・早起きをすること	6.6	4.6	22.4	4.6
時間を決めて、テレビやゲーム・携帯などをする	6.5	3.8	27.3	3.5
約束やきまりを守り、安全に気をつけて遊ぶこと	6.8	5.2	19	4.7
学校の様子が分かること（おたより・ホームページ）	6.3	5.2	17.6	4.6

児童アンケートの結果から 【1 月】

1. 『家で決まった時間勉強をしていますか』



教職員評価	重要度	実現度	ニーズ度
毎日（15 分×学年）家庭学習をすること	6.5	3.5	29.3
時間を決めて、テレビやゲーム・携帯をすること	6.6	4.1	25.7

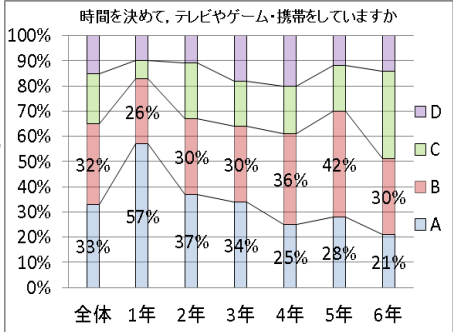
保護者アンケートの結果を見ると、7月のアンケートと比べ全16項目中7項目で実現度が上昇していました。教職員アンケートでは、10項目で実現度が上昇しており、保護者・教職員ともに、様々な場面で子ども達の成長を実感できていることがわかりました。しかし、

前回同様『毎日（15 分×学年）家庭学習をすること』『時間を決めて、テレビやゲーム・携帯をすること』の実現度が低くなっています。上記左のグラフは、『家で決まった時間勉強をしていますか。』と尋ねた7月児童アンケートと1月児童アンケート結果のグラフです。全体のA評価が、49%と低い割合になっています。昨年7月と比べれば、A評価の割合も7ポイント、AB評価の割合も4ポイント低下しています。また、学年が上がるにしたがってA評価の割合が低下し、3年生以上で見ると50%に満たない割合となっています。保護者アンケートでも、A評価は17.4%、教職員評価でも3.6%と、まだまだ改善の余地があると思われる結果となりました。

学校での様子を見てみると、宿題を忘れたり、内容が十分でなかったりすることがまだまだ見られます。学校外で、

学習する習慣を身に付けることは、基礎基本の学力定着には不可欠となります。保護者と学校とが協力し、今まで以上に、家庭学習を定着させていきたいと思ひます。ご家庭でも、今年度配布しました春日丘中学校ブロックで作成した『家庭学習の手引き』を活用していただければと思ひます。

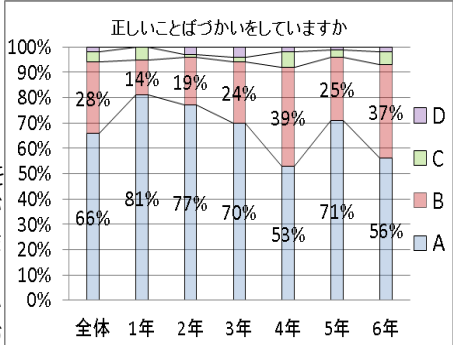
もう1つの『時間を決めて、テレビやゲーム・携帯をすること』の児童アンケートを見ると、A評価の割合が2年生から40%を下回っており、まだまだ、きまりやルールが徹底されていないと感じています。ご家庭でも「アウトメディア」につながるよう、家庭でのきまりやルールを確立していけるようお声掛けください。



2. 「先生や友だちの話をしっかり聞いていますか」「正しい言葉づかいをしていますか」

「人の話を聞く。」簡単なようで、なかなかできないことです。教育活動の大半は、まず先生や友だちの話を聞き、聞いたことをもとに、自分で判断し、行動に移すことばかりです。児童アンケートを見ると、全ての学年で60%～70%がA評価となっています。7月のアンケートと比べると、A評価の割合が少し上昇していました。これからも学校では、「聞く」「考える（判断・決断）」「行動する」といった思考の流れを大切に、自分で考えて、「考動」できるよう、取り組んでいきたいと思ひます。

また、「正しい言葉づかいをしていますか。」という項目でも、7月のアンケートと比べ、AB評価の割合が上昇していました。学校での様子を見てみると、職員室での入退室時には「失礼します。〇年〇組〇〇です。〇〇教室のカギを取りにきました。失礼しました。」と、全員が大きな声で、丁寧な口調で話すことができています。先生や地域の方と話す様子を見ていても、高学年になるにしたがってしっかりと敬語を使って話ができる児童が増えてきていると実感しています。しかし、友だち同士の会話を聞いていると、乱暴な言葉遣いや命令口調で話をしている光景がよく見られます。冗談のつもりで言った言葉が、トラブルに発展することもなくありません。例え友だち同士であっても、お互い気持ちのよい言葉づかいや日野小学校独自で取り組んでいる「あったか言葉」を更に大切に使用していけるようにしていきたいです。そのためには、まず私たち教職員が良き手本となるよう、精進していきたいと思ひます。



3. 「誰に対しても挨拶ができること」

上記の表は、「誰に対しても挨拶ができること」の保護者アンケートと教職員アンケートを表したものです。7月のアンケートと比べ、全体では大きな変化はないものの、保護者・教職員の実現度が上昇しており、朝の挨拶運動やお家でのお声掛けが着実に成果として表れてきたのだと思ひます。しかし、まだまだ重要度に対して実現度は低いため、引き続き保護者の皆様や地域の皆様と協力し、取組を進めていきたいと考えています。

挨拶ができること	重要度	実現度	ニーズ
保護者	6.7	4.8	21.4
教職員	6.9	3.7	29.7

4. 「自由記述欄」より

感想・ご意見の欄では、他にもよかった点や改善すべき点について貴重なご意見をたくさんいただきました。全ての内容を掲載することができなかったこと、お詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。自由記述欄に書かれていたものの中には、更により多くの保護者の皆様、地域の皆様と議論を重ねた上で、検討していければと思ひます。

今後、さらに学校・保護者の皆様と連携を深め、課題として挙げてきたことについては、共通理解を図り、改善に向け取組を進めてまいります。今後とも、ますますのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

自由記述欄より(※学校全体に関わる内容を掲載します)

- ・なるべく学校の中で、教材は用意してほしい。プリンやヨーグルトの容器など、給食で用意できる。
- ・学校の前に沢山の車が止まっていて、大変危険で迷惑です。また、子どもが帰る時、道一杯に広がって歩いたり、周りを見ないでいきなり渡ったりするため怖い。
- ・夏休みのプール解放が暑すぎて中止になる日が多いので、(特に午後)午前中のみにし、日数を増やしていただけないでしょうか？
- ・遠足や学校行事等で、全員で撮った写真だけでもいいので販売してほしい。
- ・悪いことは悪いと叱ってくれる先生が必要だと思います。反対に、良いことをした子どもにはしっかりと誉めてあげてほしいです。
- ・子どもに使わせたくない言葉遣いを先生もしていると聞いています。親として指導しにくくなるので、先生の言動も最低限正してください。
- ・宿題が多いように思ひます。ない日も(1ヶ月に1度ぐらい) あっていいと思ひます。
- ・ホームページで、学校の様子を見ることができているので良かったです。生活リズム調査の期間に限らず、生活リズムを整えてほしい。
- ・朝ランや体育の授業時、シャツ(下着)を脱がないといけなのは絶対おかしいと思ひます。その理由をはっきり、明確に、学校は保護者に納得のいく説明(書面も可)をしてもらえないと思ひます。
- ・先生や地域の方々に対して、正しく、せめて「です。ます。」位の敬語を使うよう指導して頂きたいです。